

交響曲〈五月の歌〉をうたう合唱団ニュース 4

2008年7月

■2008年日本のうたごえ祭典〈五月の歌〉事務局 TEL 03(3200)4977 FAX 03(6801)7399 E-mail : utagoe60@ky.main.jp

——60周年日本のうたごえ祭典・記念音楽会にむかって——

**** 交響曲〈五月の歌〉をうたう合唱団への登録は241名に (7月12日現在) ****

「憲法のこころを歌う」説得力のある合唱づくりに向かってすべての団員が奮闘しましょう!!

5 月17日の第1回合同練習&結団式以降、南部・三多摩青年、両合唱団のコンサートが行なわれ成功しました。南部合唱団のコンサートでは〈五月の歌〉より「共に生きる町」「愛」を演奏。三多摩青年合唱団は林光さんをお迎えしての音楽会。どちらも盛況の中で60周年祭典に向かう合唱団のメッセージを届けました。

さていよいよ〈五月の歌〉の音楽づくりも正念場に。7月19日の栗田先生をお迎えしての第2回東京合同練習を折り返し点にして、11月7日の外山先生の特別練習まであと3ヶ月。(うかうかしているとアツという間に来てしまいますよ!) ブロック練習を積み上げて「説得力のある音楽作りへ」がんばりいきましょう。

♪合同練習参加費の納入もよろしく¥

現在、登録は241名になっていますが、合同練習参加費の納入は144名分しか行なわれていません。特に音楽会を準備した関係で、南部・三多摩の納入が遅れているようです。すでに募集チラシの作成や講師謝礼、会場費などでお金がかかっています。

●7月中には登録した方全員の入金をお願いします。

各ブロックの担当の方にはお手数をおかけしますが、この参加費の納入をもって正式団員登録としますので、よろしく頼みます。

こ のことを含めて、これまでの「合同合唱」の〈馴れ合い〉的なやり方ではなく、練習出席の管理やリハーサルへの参加を「音楽作りの最低限の常識」として徹底したいと事務局では考えています。それぞれの事情は考慮を要しますが、「決めたことは守る」風潮を確立したいものです。そのことは専門家の方々とおつきあひする上での最低限守るべき私たち「うたごえ」の立場だからです。きびしいようですが、よろしくご理解いただき、ご協力ください。

出欠アンケートの集約も7月中に!!

出
?

そ のために事務局からの提案として——

- ・ 東京全体での合同練習は回数が少ないが、祭典活動全体を見るとこれ以上増やすことは困難。そのために、合同練習には必ず全員が参加して、栗田先生の指導のもとで一緒に緻密な音楽づくりをめざす。
 - ・ また、外山先生の特別練習と当日リハーサルについては当然「100%出席」とする。
- 一を提起しました。各ブロック・合唱団で意志統一をすすめていただいていると思いますが、「出欠アンケート」に基づく参加集約を確実にすすめたいと思います。各ブロックごとで集約していただいて、8月5日の〈五月の歌〉事務局会議で最終的な団員の確定を行ないます。この上で愛知などの全国の方々に、記念音楽会の〈五月の歌〉への合唱参加が可能かどうかの報告をすることになっています。必ず全員分の集約をよろしくおねがいします。

(文責・〈五月の歌〉事務局 長 服部)

♪♪【よびかけとおねがい】♪♪

池辺先生の新作「私たちが進みつづける理由」を一緒に歌いませんか!!

今回の祭典の総監督でもある池辺晋一郎先生が、祭典実行委員会のお願ひに応じて書き下ろしていただいた「私たちが進みつづける理由」(キム・ロザリオ・詩堤美果・訳)。この曲を11月23日の記念音楽会で東京初演します。9月12日には赤羽会議講堂で池辺先生をお迎えしての特別練習も予定しています。

ぜひあなたも一緒に歌いませんか?

翌日の大音楽会～有明コロシウムでも「共に生きる町」を千人で

11月24日の大音楽会では「共に生きる町」「私たちが進みつづける理由」を全国のうたごえの仲間と一緒に歌います。「共に生きる町」の指揮は守屋博之さん。「私たちが～」はモチロン池辺先生です。23日の〈五月の歌〉の舞台に乗れなかった全国の仲間と一緒にシメの舞台を作りましょう。

●この2つについて、ニュースの後ろのアンケートに登録欄があります。積極的に応募してください。

今回のニュースは4頁。2面は「学習のページ」。3面に「出欠アンケート」。4面は9月の「第三回合同練習会」の会場地図です。最後までキチンと読んでアンケートを各ブロック担当に渡してね。